

## ▼注射用エフオーワイ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ガベキサートメシル酸塩

gabexate mesilate 【分類】 蛋白分解酵素阻害剤

【単位】 ▼100mg/V, ▼500mg/V

【常用量】 ■肺炎：初期量 100～300mg/日 [最大 600mg] ■DIC：20～39mg/kg/日持続

【用法】 ■肺炎：5%ブドウ糖もしくはリンゲル液 500mL に溶解したものを 1hr 以上 (8mL/min 以下) かけて点滴静注 ■DIC：24hr 持続静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー様症状、静脈炎、血球減少、血圧低下、発疹・かゆみ、肝障害、高カリウム血症、消化器症状など

【代謝】 血液中でエステラーゼにより ε-guanidinocaproic acid (GCA) と ethyl 4-hydroxybenzoate (EPHB) に加水分解される (1) CYP は関与しない (1)

【排泄】 代謝物の GCA はそのままの型で、EPHB はグルクロン酸抱合され尿中に排泄 (1) 尿中回収率 70～80% (ラット, ウサギ) (1)

【t1/2】 1min (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 417.48

【透析性】 代謝物の GCA が 30.8%, 遊離型 benzoate 代謝物 (EPHB) が 17.7%除去され、透析性はある (1)

【OW 係数】 資料なし (1)

【備考】 末梢投与の際には 0.2%以下の濃度に調製 (1)

【更新日】 20121029

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。